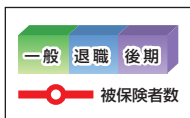
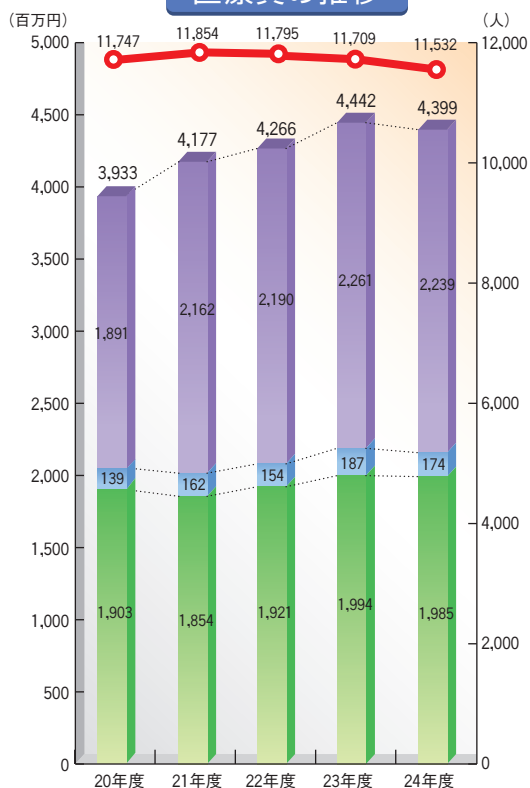


益子町

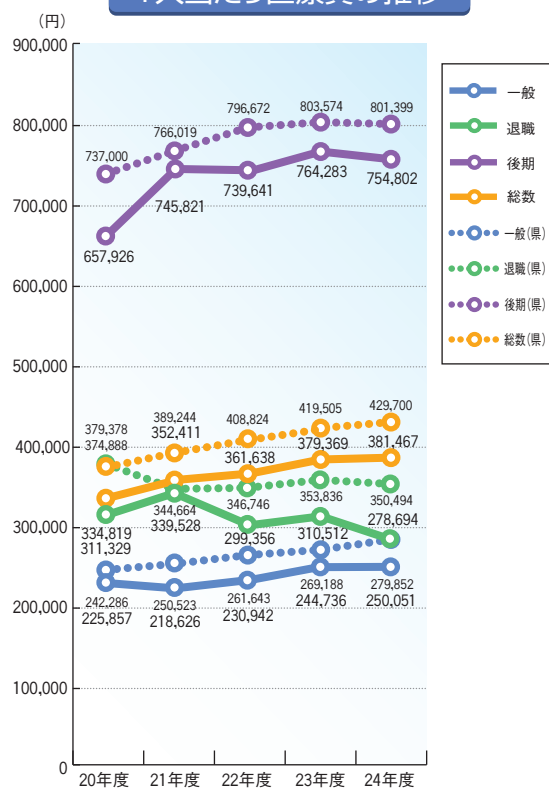
益子町



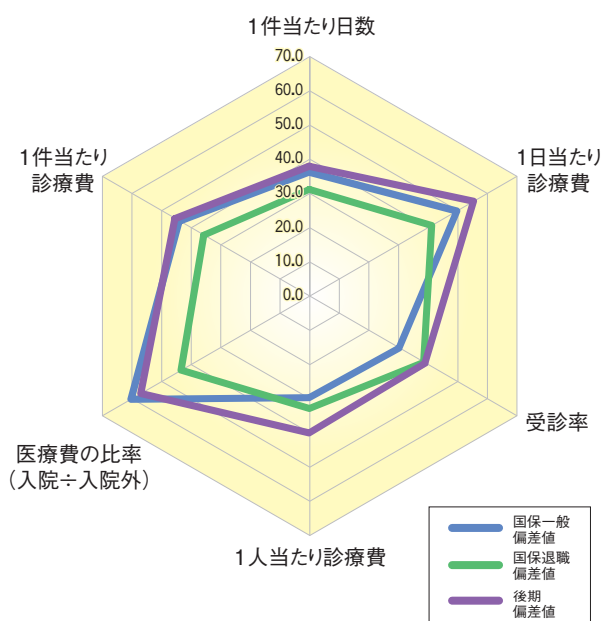
医療費の推移



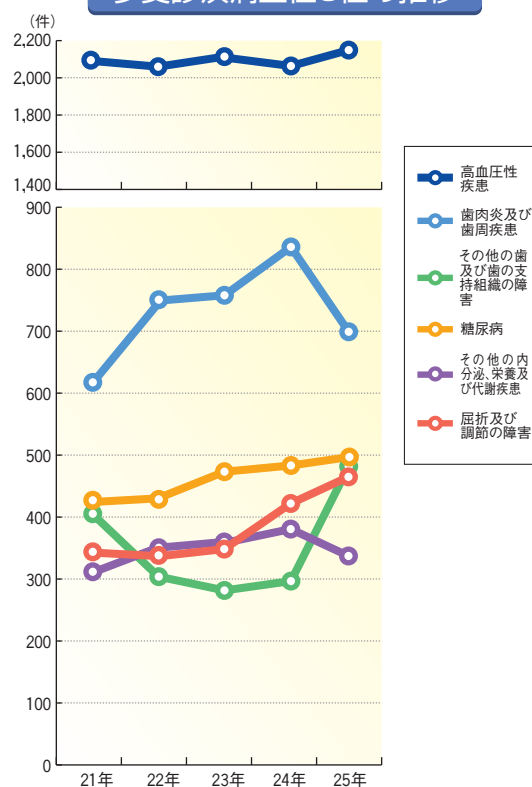
1人当たり医療費の推移



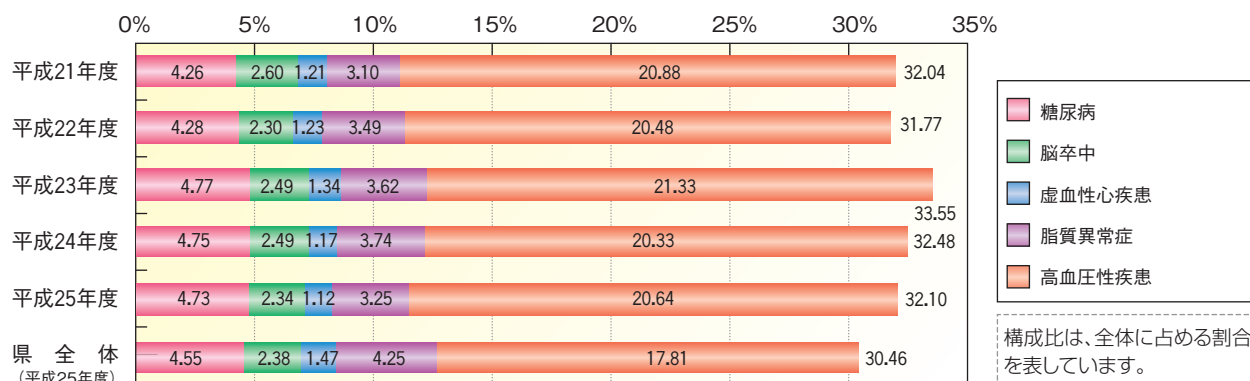
平成24年度
3要素と医療費諸費(県平均との比較)



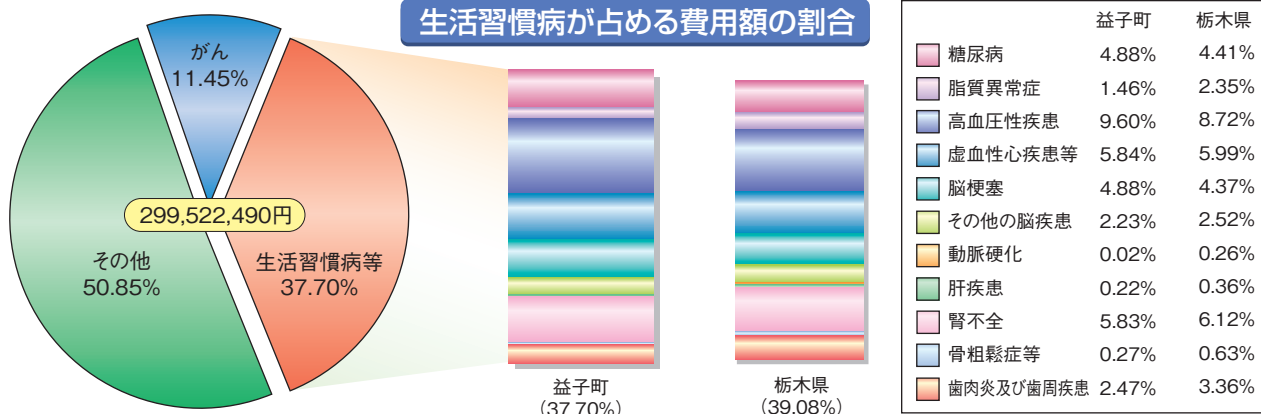
多受診疾病上位6位の推移



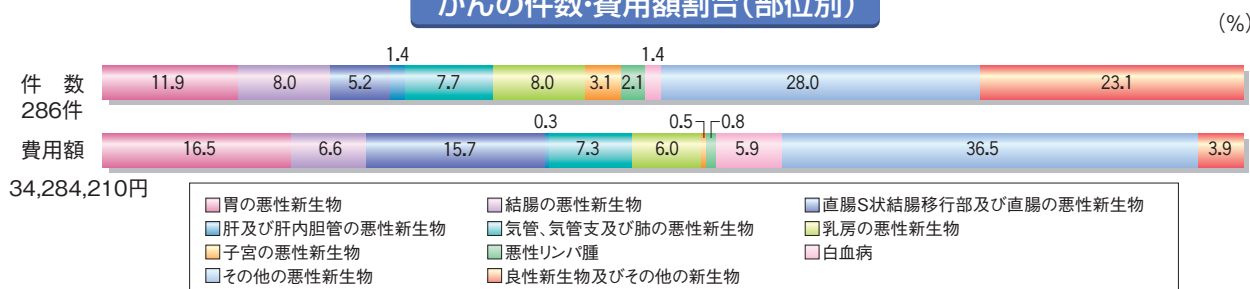
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



益子町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成24年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般1,985,403千円(99.6%)、退職174,184千円(93.2%)、後期2,239,496千円(99.1%)で、全体では4,399,082千円(99.0%)と減少している。()は前年度との比較。

平成24年度平均被保険者数は11,532人で、内訳は一般7,940人、退職625人、後期2,967人である。前年度比較すると全体で98.5%と減少している。

また、平成24年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は381,467円(2,098円増)、一般は250,051円(5,315円増)、退職は278,694円(31,818円減)、後期は754,802円(9,481円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、退職がすべての諸率で平均を下回る低い偏差値となっている。一般及び後期は、1日当たり診療費と医療費の比率以外、いずれも低い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成25年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の歯及び歯の支持組織の障害、5位屈折及び調節の障害、6位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患で、中でも5位の屈折及び調節の障害は年々増加しており、平成21年と比べ、件数は1.4倍、費用額は1.6倍となっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、中でも高血圧性疾患の構成比が高い。

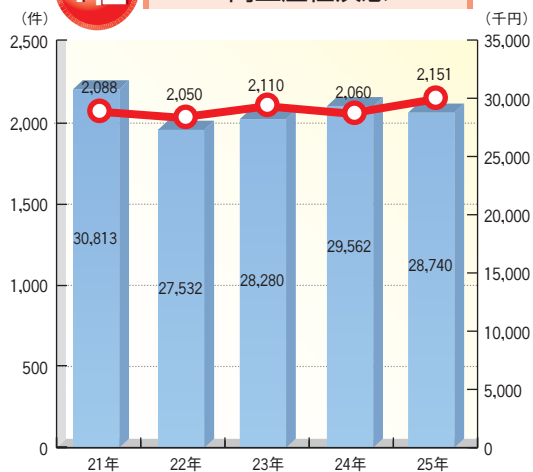
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成25年5月診療分の総費用額が299,522,490円で、がんが11.45%、生活習慣病関連が37.70%を占めている(県全体 がん11.56%、生活習慣病関連39.08%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.60%、虚血性心疾患等5.84%、腎不全5.83%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数・費用額ともに、胃の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

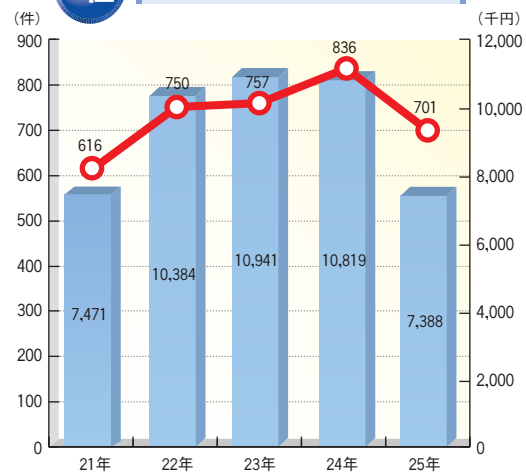
1位

高血圧性疾患



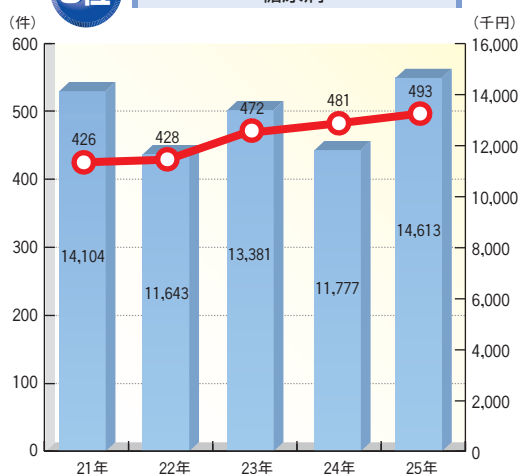
2位

歯肉炎及び歯周疾患



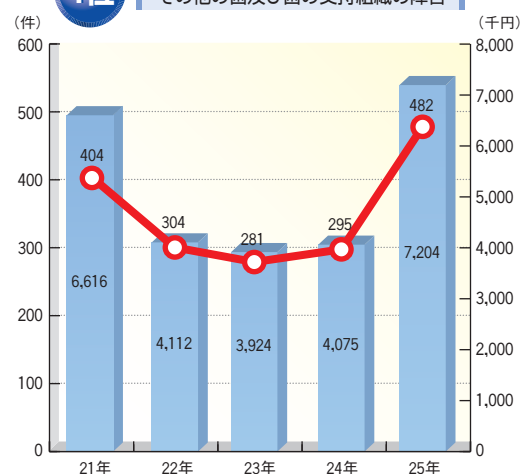
3位

糖尿病



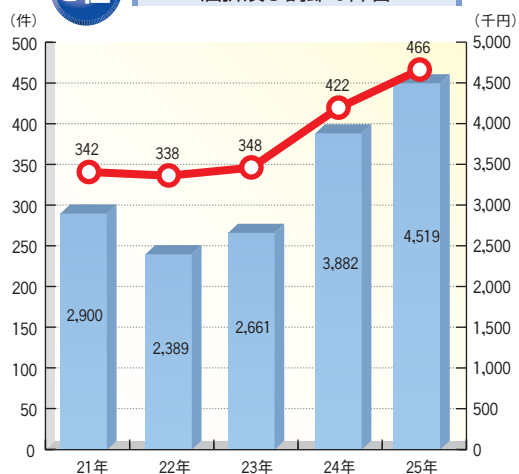
4位

その他の歯及び歯の支持組織の障害



5位

屈折及び調節の障害



6位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患

